

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成 30 年度松阪市学校給食センターベルランチ 運営委員会・連合協議会
2. 開 催 日 時	平成 30 年 7 月 10 日（火） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分
3. 開 催 場 所	松阪市学校給食センターベルランチ会議室
4. 出席者氏名	（委 員）◎高橋秀敏、○中島安悠、須田展江、笹中克洋、青木俊幸、 野呂一彦、村田佳之、西岡晃彦、中西裕之、安田美穂、武内英嗣、中 村明子、西田尚史、山田絵美也 ※◎会長 ○副会長 （事務局）上山孝一、高木里香、大島かれん、水谷優希
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0 人
7. 担 当	松阪市教育委員会給食管理課 TFL 0598-61-1155 FAX 0598-28-7312 e-mail kyusyoku.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

1. 委員の委嘱について
2. あいさつ
3. 自己紹介
4. 役員選出について
5. 議題（1）学校給食センターベルランチの運営について
（2）平成 29 年度給食会計決算報告及び監査報告について
（3）平成 30 年度学校給食実施計画について
（4）平成 30 年度給食会計予算（案）について
6. その他

議事 別紙

平成30年度松阪市学校給食センターベルランチ運営委員会・連合協議会議事録

日 時 平成30年7月10日(火) 15時00分～16時00分
場 所 松阪市学校給食センターベルランチ会議室
出席者 (委員) 須田展江、高橋秀敏、笹中克洋、青木俊幸、中島安悠、野呂一彦、
村田佳之、西岡晃彦、中西裕之、安田美穂、武内英嗣、中村明子、西田尚史、
山田絵美也
(事務局) 上山給食管理課長、水谷、高木、大島

1. 委員の委嘱について

事務局 机上に委嘱状を置かせていただいています。これをもって委嘱状の交付とさせていただきますことをご了承ください。

2. あいさつ(上山課長)

課 長 平素、学校給食にご理解ご協力いただいていることをお礼申し上げます。
今年、食材の高騰等により給食費を改正した。成長期のこどもにとって安全・安心で栄養バランスのとれた給食となるようより一層努力していく。ベルランチは翌年で10年を迎える、施設設備も悪くなってきているところが多々みうけられる、今後もより衛生的な施設とするため計画的に修繕を進めていく。学校給食をよりよいものとしていくためにも、本日は活発なご意見をよろしく願います。

3. 自己紹介

(省略)

事務局 本日、松阪市学校給食センターベルランチ運営委員会・連合協議会は松阪市学校給食センター運営委員会規程に基づき過半数以上の出席をいただいていますので、会議が成立していることをご報告します。

4. 役員選出

事務局 運営委員会発足時に、継続していく委員会であるということで、輪番制で役員を決めています。本年度は鎌田中学校校長高橋様に委員長、久保中学校保護者代表中島様に副委員長をお願いしたいと考えていますが、ご承認いただけますでしょうか。

(委員一同異議なし)

事務局 ありがとうございます。ご承認いただけましたので、(案)を削除してください。それでは、これ以降の議事進行については松阪市学校給食センター運営委員会規定第7条1項に基づき、委員長より進めていただきます。よろしく願います。

5. 議題

委員長 (1) 学校給食センターベルランチの運営についてについて事務局から説明をお願いします。

事務局 学校給食は学校給食法に基づき、学校給食の目標7点を達成するよう実施しています。献立は文部科学省の定める実施基準や学校給食摂取基準に基づき作成しています。また給食管理課では食育の推進に取り組んでおり、地産地消の推進・食物アレルギー対応、給食だよりや市及び学校のホームページなどを通じた家庭への情報提供等を行っています。

ベルランチの運営ですが、会議は運営委員会連合協議会、担当者会議、献立委員・給食物資選定委員会、会計監査などを行っています。調理配送業務は委託方式で㈱トモにお願いしています。契約期間は平成31年7月31日までです。

給食費については今年度より改正しました。中学校の給食費は月額4,800円、幼稚園は月額4,400円で、8月を除き年間11回徴収を行い、年間183回の給食を実施しています。中学3年生は年間10回の徴収とし、年間167回の給食を実施しています。給食費は経済的に支払いが困難な家庭のために生活保護費や就学援助費など補助的な制度もあります。また、長期欠席や転入転出、主食除去者、基準額で徴収するものは、減額等の措置をさせていただいています。また、6,7ページには平成29年度の給食実施の実績を記載しています。ご確認ください。

食材調達に関しては、基本的に入札による調達を行っていますが、地産地消や食育を目的とする食材に関しては、生産者等から直接調達しています。ベルランチでは、米は松阪産こしひかり、牛肉は国産、豚肉鶏肉は県内産を指定しています。

突発的な給食未実施についてですが、台風時の対応については突発的ということから欠食対応は行っていません。天候不良が予測される場合、前日の16時に給食の中止を教育委員会で決定します。前日16時に中止を決定しなかった場合でも午前5時に暴風警報が発令されていた場合、給食を中止します。パンについては処理等の都合により前々日にパンを米飯に変更します。午前5時以降暴風警報が解除され登校する場合も給食は実施しません。学級閉鎖の対応も、報告を受けた日とその翌日における欠食対応は行いませんが、それ以降にも欠食がある場合は、デザート等で対応します。

食物アレルギー対応については、三重県作成の『学校におけるアレルギー疾患対応の手引き』というマニュアルに基づき、市としてさらに協議を行い対応しています。学校給食は、学校教育の一環として実施されているため、食物アレルギーを有する児童生徒園児に対しても、学校給食が原因となるアレルギー症状を発生させないことを前提として、アレルギー対応を行なっています。食物アレルギーを持っている児童生徒園児の保護者に対し、最低年1回は医療機関で受診することを勧め、医師の診断、指示

に基づいたうえで、可能な範囲で除去食対応または一部持参対応を行なっています。

ベルランチで提供する献立は、主に栄養バランスのとれた献立、食育の教材となる地場産物や旬の食材を用いた献立、日本型の食事の良さを伝える献立を目的としています。栄養価の基準については学校給食摂取基準量を目標実施しています。

給食費について光熱水費・施設設備費・委託費は松阪市負担しており、保護者には食材費のみを負担いただいています。ベルランチでは年 5 回献立委員会を開催し、献立原案の承認をもらっています。また、給食目標を月々設定しています。地場産物や旬のもの紹介として掲示資料等も配布しています。以上です。

(質疑応答)

- 委員 近頃、台風他にも特別警報なども発令されている。特別警報が市内で発令された場合給食はどうなるのか。
- 事務局 特別警報の場合給食を中止するという取り決めはない。市内の状況や学校周辺の状況などを鑑み、随時対応を決めることになる。
- 委員 台風のように事前に給食を止めるということはないのか。
- 事務局 現段階ではそのような取り決めはない。

委員長 今後もよろしくお願ひしたい。次に(2)平成 29 度給食会計決算報告及び監査報告について事務局より報告お願ひします。

事務局 科目・予算額・決算額・内訳を説明。収入 162,007,392 円、支出 153,589,620 円、差し引き 8,417,772 円を次年度に繰り越します。月ごとの詳しい内訳については資料に記載のとおりです。

委員長 昨年度監事より会計監査報告お願ひします。

昨年度監事 平成 29 度監事として平成 30 年 5 月 30 日に監査を行いました。収支とも正確であり、関係書類も整備されていたことをご報告もうしあげます。

(質疑応答)

- 委員 繰り越しが約 800 万ほどあるようだが、数字が大きいのではないか。余ることが確定した後になにかを給食につけることで対応することもできたのではないのか。工夫をしていただけるとありがたい。
- 事務局 献立は献立委員会で承認をいただいている。献立委員会で決定後に献立内容を変更するのは難しい。平成 28 年、29 年度は悪天候により食材価格の変動が大きかった。また、給食費も窮迫しており、献立を比較的材料費がかからないように計画していた。決算時に食材費が足りないということはありません。繰り越しがでることにはご理解いただきたい。今年度は給食費を改正し、食材費の面で落ち着いてくると考えられる。いただいた給食費の範囲内でうまく運営できるよう考えていきたい。

委員長 承認いただけるかたは挙手をお願いします。

(挙手全員)

委員長 全員の挙手がありましたので承認とさせていただきます。では(3)に移ります。(3)平成30年度学校給食実施計画(案)について事務局より説明をお願いします。

事務局 (3)平成30年度実施計画(案)と(4)給食会計予算(案)につきましても、共通する部分が多くあるため合わせて提案させていただきます。昨年度11月頃に調査を依頼した学校別年間実施計画に基づき作成しております。中学校ではパン40回米飯156回の計196回、幼稚園ではパン40回米飯150回の計190回を給食稼働回数とします。

事務局 給食計画予算案についてですが、科目・予算額・決内訳を説明。喫食者数は4月の人数で、給食実施回数は183回で試算しています。収入支出ともに160,331,598円である。

(質疑応答)

委員 副食予備費について詳しく教えていただきたい。

事務局 副食予備費は繰越金に過年度給食費を加算したもので、平成30年度の給食費ではない部分を予備費として考えている。今年度については、年度の途中で残額等も考慮いただいた給食費をきちんと保護者に還元できるよう努めたい。

委員 小麦粉の価格が高騰していると聞くが、給食に影響はないのか。

事務局 パンは三重県学校給食会と契約している。給食会は県下の給食食材の安定供給に尽力している団体であり、年度途中で急な高騰はないと考えている。今後、市場価格も考慮し使用していきたい。

委員長 承認いただけるかたは挙手をお願いします。

(挙手全員)

委員長 全員の挙手がありましたので承認とさせていただきます。それでは(案)を消していただきたい。

6. その他

委員 大きな釜で給食を調理していると思うが、どのように各校に振り分けているのか。

事務局 人数表をもとに一人分量を決めて配缶をしている。少ないや多いとの申し出があっても全体の献立として考慮することはあるが、クラス別、学校別に量を多め、少なめに配分することはない。

委員 大きい施設で釜の数も多いと聞くが、余剰はどれぐらいあるのか。

事務局 ベルランチ最大5000食まで対応可能な施設である。現在ベルランチでは3,200食程度の提供を行っている。献立によって使用する機器は異なるが、さまざまな種類の献立提供をするためには釜数、フライヤー数等適切な数であると考えている。

委員 平成 31 年度より幼稚園で三歳児の保育および給食提供が始まる。これについていろいろとお世話をかけると思うがよろしくお願ひしたい。保護者の中には、給食内容が三歳児に合わせて大きく変わるのではと不安に思っている方もいる。開始に向けて保護者向けにチラシ等の作成をお願ひしたい。

委員長 貴重なご意見ありがとうございました。これにてベルランチ運営委員会・連合協議会を終了します。本日はお忙しい中ありがとうございました。

以上